

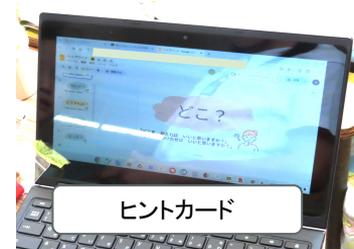
# 個別最適で協働的な学びの充実をめざした実践

## 自ら学び方を選択する



### 【4年生の実践 社会科】

フリースペースを開放することで、その場所も含めて自分の学びたい場所で学ぶことができる。



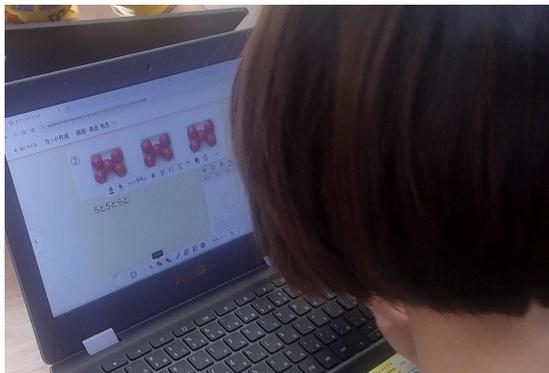
### 【2年生の実践 生活科「おもちゃづくり」】

先生に尋ねたり仲間に相談したりすることができる環境がつけられている。また端末を活用してヒントカードや作り方動画をクラウドでいつでも確認できたり、図書室の本を参考にしたりすることで、こどもは自分の学びやすい方法で学ぶことができる。

一人で学ぶか、誰と学ぶか、何を使って学ぶか、どこで学ぶか、こどもの様々な学習ニーズに応え、こどもが自分で学び方を選択できるような授業デザインを設計する。

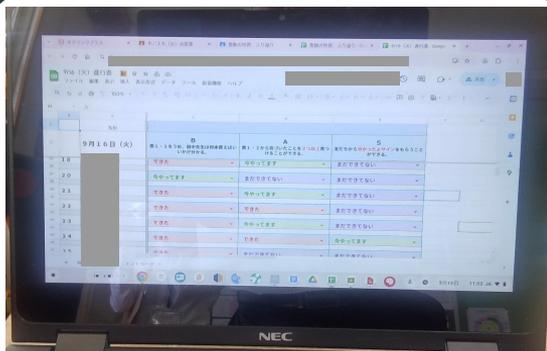
# 個別最適で協働的な学びの充実をめざした実践

カードやスライド、スプレッドシートに自分の考えを出力すると同時に仲間と共有する



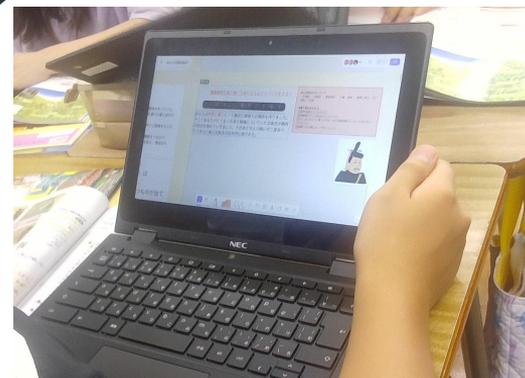
## 【1年生の実践 算数科】

ものの数え方の工夫の仕方をカードに書き込んでいる。



## 【5年生の実践 算数科】

スプレッドシートでチェックしながら、本時でどこまで学ぶかなどの時間管理を自ら行う。



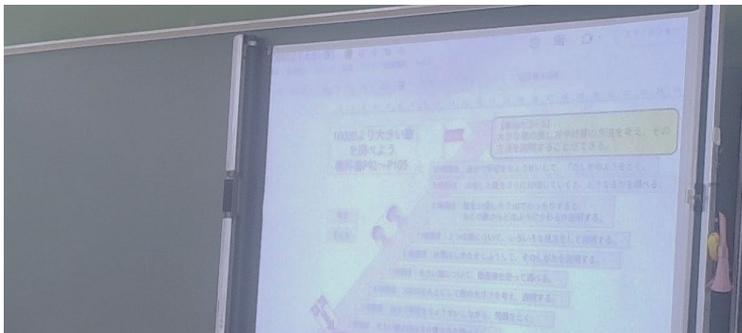
## 【6年生の実践 社会科】

鎌倉幕府の政治について、自分の考えをスライド上に整理して表す。

自分の考えをアウトプットし、クラウドを活用することでお互いの考えを参照している。さらにこのような学び方を子どもたちに委ねるからこそ、個に応じた指導を展開できる。そのためには、低学年から端末を使った学び方の積み上げが重要である。

# 個別最適で協働的な学びの充実をめざした授業

## 単元計画、本時の流れをクラウドで共有する



### 【3年生の実践 算数科】

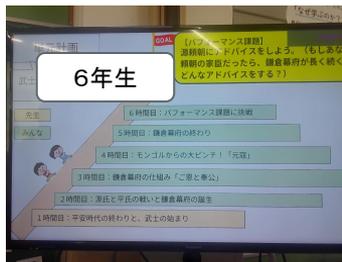
単元の最初に全体の学習の流れを説明する。また、この単元でどんな力を付けたいかも併せて示す。



2年生



1年生



6年生

郡山小学校では全学年で単元計画と本時の流れの説明を行っている。これらはクラスルームで教科・単元ごとに整理されており、子どもたちは端末で確認できるようになっている。

単元計画や本時の流れをクラウドでいつでも確認できるようになっている。子どもたちは毎時間の授業でどんな力を付ければいいのかを把握し、自分の学びを調整できるようになる。また、自分の学びの見通しをもつことができ、学びに対して安心感が生まれる。

# 個別最適で協働的な学びの充実をめざした授業

## 毎時間、端末を活用して振り返りを記入する

C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	
ふりかえりのべんきょうでわかったこと、できたこと、わからないこと/べんきょうのしかたで考えたこと、がんばったこと										文字数	
どうがやしんをとるのにじかんがかかったからつぎは早くやしんとどうがをとってもっと文字を書きたかったです。										55	つぎはじゅぎょうしれませんね。
今日のおべんきょうでいろんな仕組みがわかりました。トイレットペーパーでもいらない組みができるとわかりました。										57	トイレットペーパーのしかた
今日のじゅぎょうでいろんな組みがいるなものでできるとわかりました。ほかのものでもいれとペーパーのしんがいでもそれでもできないとおもっていたのもできるのがわかりました。いらない組みがわかったけどつぎはもっといらない組みをさがしてみたいです。										128	ちがうサイズでもることに気づきました。
べんきょうでどうやったらうまくできるかを考えました。いらない組みを考えました。										40	どのしくみを入れましたか。
どうすればもっととぶか考えてわゴムと紙コップだけでとぶことがわかりました。今日のべんきょうでどうすればもっととぶかを考えました。											紙コップが割れたのは、すくき
かざりつけをしたきれいにかんせいすることがわかりました。ワークシートを書いたらどうすればもっとじょうずにできるかわかりました。どうしたら一年生がよろこぶかざりつけをできるかを考えました。										94	かざりつけのこともっとぶたがにはっけんできると
今日のべんきょうでわゴムが2こだとそんなにとばないことがわかりました。どうしたらふたつでもとぶかを考えたいです。										56	わゴム2こではと
こつぷの4こよりもっときこみをいれているところにわゴムをかけたらくとぶことがわかりました。ともだちのがこまっていることを考えるのをがんばりました。どうしたら2このわゴムでもとぶかをさいしょにともだちと相談なくで											

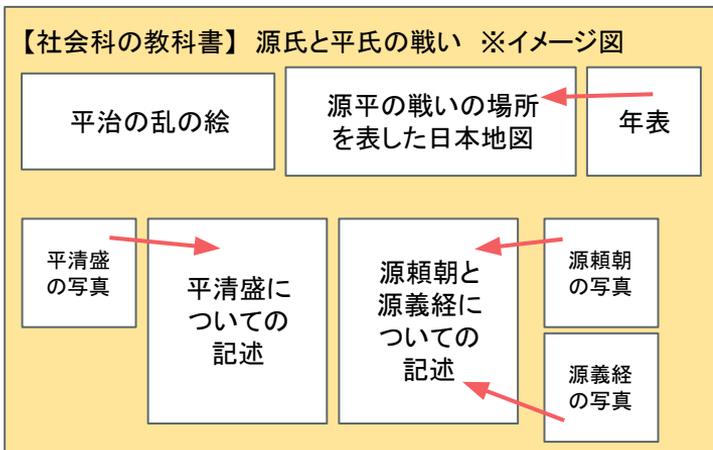
### 【2年の実践 生活科「おもちゃづくり」】

振り返りで「べんきょうでわかったこと、できたこと、わからないこと」や「べんきょうのしかたで考えたこと、がんばったこと」を端末に記入していく。こどもたちは、おもちゃをつくるうえでその仕組みについて考えたことやともだちと一緒にがんばって考えたことなどを記述している。また、こどもの振り返りに対し、教師がコメントしている。

こどもたちは毎時間、何を学んだか(教科の内容)ということや、自分がどうやって学んだか(学び方)ということを振り返っている。振り返りにより、本時の学びをメタ認知し、より学びが主体的なものとなる。加えて個々の振り返りはスプレッドシートに保存されるとともに、個々の学びが全体で共有されることで、次時の授業への足場架けとなる。

# 個別最適で協働的な学びの充実をめざした授業

## 情報を関連付け、整理する



### 【6年の実践 社会科「鎌倉幕府の政治」】

教科書に記載されている重要語句に線を引き、意味を書き加えている。文章と文章、文章と写真、写真と図など複数の情報を組み合わせ、自分なりにまとめたことを基に考えたことも書き加えている。

また、社会科の教科書ならではのまとめ方として、年表と地図を関連させることで、どこで何が起こったかということが一目でわかるように整理している。

教科書の読解は情報活用能力を駆使することにつながる。本文、写真、図、グラフ、解説など問題解決に必要な要素がたくさんある。グラフや写真など本文を結びつけて読むことを徹底するなど、教科書の中で情報を関連付けることが重要である。